



FUJITSU

## 株式会社 ブルーオーシャンシステム 様

Blue Ocean System, Ltd.

OUTLINE

### ICT 化への高い障壁を抱える介護事業の現場に PaaS の活用でだれでも手軽に使える SaaS 型業務支援パッケージを提供

#### USER'S VOICE

寺岡 正人 氏 | 株式会社ブルーオーシャンシステム専務取締役

「多い時には日に 2 度以上、プラットフォーム上のアプリケーションを改変します。そのためのデプロイメント作業が格段に速いので、さっそく利用を決めました」



課題	効果
● 頻繁なアプリケーションの改変に伴う作業時間を短縮したい	● 国内データセンター利用で、プラットフォームに改変プログラムを送り込む作業を迅速化
● 最新技術利用時に発生する問題の解決に、強力なサポートが必要	● 専門部隊を揃えたサポートデスクを利用し、電話による相談も可能に
● ユーザー側のレスポンスを少しでもスピードアップしたい	● 国内データセンターの FGCP/A5 利用で、レスポンスを向上

**SaaS** **PaaS** **IaaS** **DaaS** **Network** **プライベートクラウド**

**ソリューション** FGCP/A5 Powered by Windows Azure™

**クラウドを選んだ理由** ネットワークレスポンスが高く、デプロイメント作業をスピードアップできる

**採用のポイント** 利用しやすいサポートデスク

#### 概要

株式会社ブルーオーシャンシステム様は、2010 年に設立。主に高齢者介護・障害者支援事業所に記録業務支援用パッケージシステムを開発・販売している。介護事業では各事業所が地域に分散していることが多く、同社はサーバを設置した場合のコスト問題などを解消するため、マイクロソフト社の Windows Azure Platform を採用。その上で、使いやすいパッケージシステムを追求し、毎日のように改変するという開発体制を充実させる目的で「FGCP/A5 Powered by Windows Azure」(以下、FGCP/A5) を利用。多忙な高齢者介護・障害者支援スタッフが手軽に利用できるシステムを作り上げ、高い評価を得ている。

ユーザープロフィール
<b>株式会社 ブルーオーシャンシステム</b> 所在地 : 静岡県静岡市葵区細屋町11-1浮月ビル3F 代表者 : 代表取締役 岡本 健治 設立 : 2010年3月 事業内容 : 医療・高齢者介護・障害者支援・ 保育分野の業務支援システム開発と提供。 U R L : <a href="http://www.bosys.co.jp/">http://www.bosys.co.jp/</a>

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために



## 国内データセンターならではの高レスポンシビリティ

Windows Azure Platform 上に記録業務支援システムを構築した同社は、「パソコンに不慣れでも、直感的に使える操作性と画面デザインを追求し続ける」（専務取締役寺岡正人氏）というスタンスでシステムの改良に取り組んでいる。その徹底した取り組みのなかで「FGCP/A5」の利用を決めた理由について、寺岡氏はこう語る。「極端な話なのですが毎日のようにバージョンアップしても良いと考え、日々改善を行っています。多い時には1日に2度以上、プラットフォーム上のアプリケーションに変更を加えます。ユーザーの運用を止めずにアプリケーションのバージョンアップが実施できるのも

Windows Azure Platform の優れたところです。また、ネットワーク経由で改変したプログラムを送り込むデプロイメント作業を行うのですが、富士通のFGCP/A5をトライアル利用したところ格段に速く、数十分かかっていた時間が約半分に短縮されました。しかも Windows Azure で構築しているアプリケーション資産をそのまま活かせるわけですから、さっそく利用を始めました」。

また、同社はFGCP/A5のサポート体制を高く評価する。最新技術を積極的に取り入れている同社の場合、これまでSEが遭遇したことのない技術的問題の解決を迫られることがよくあるという。「そんな場面では、専門部隊が常駐するFGCP/A5の日本語サポートデスクに、直接電話で相談できる高品質のサポートサービスが心強いのです。

たとえ専門外の質問であっても『こうしてみたらどうでしょうか』と相談に乗ってくれるので、解決のヒントをつかみやすく助かっています」（寺岡氏）。

## 余力をシステム機能強化とSE育成に向ける

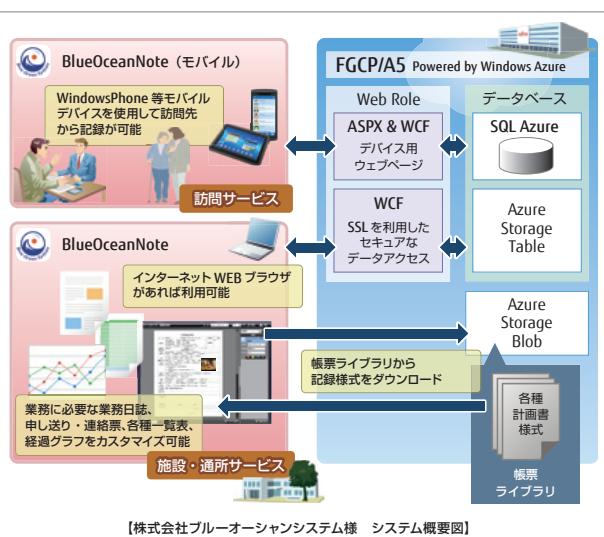
FGCP/A5利用のメリットは、ユーザー側にも現れているという。「検索スピードが速いので、ユーザーの皆さんも

レスポンスの向上をはっきり感じているようです。感覚的なのですが時間のかかる処理でもキーをたたいて5秒待っていたのが、3秒以下に早まった感じです。1つのサービスを終えたら、すぐに業務を記録し、次のサービスをこなさなければならない介護現場の職員さんのためには、さらにアプリケーションを改良し、待ち時間を1秒でも短縮したいと考えています」（寺岡氏）。

また寺岡氏は、FGCP/A5のメリットを活かし2つの展開を考えている。1つは、直感的に使える記録業務支援システムを、より高度な活用に応えるシステムへと進化させることだ。寺岡氏はこう語る。「ユーザーさんが記録を蓄積していくことで、例えば感染症や病状変化の前兆に気づく機能。類似症例や他の介護スタッフの経験から、学ぶべきポイントをプロファイリングする機能。さらに、待機中のスタッフや外出中のスタッフと嘱託医をつなぐメッセージ機能などを強化していきたいのです」。

そしてもう1つの展開は、自社SE力の強化だ。「クラウドは、システム保守・管理業務からSEを解放してくれます。その余力を、新たなSEの育成に振り向け、社としての技術力を向上させていく。それが当社の今後の成長を担保すると考えています」（寺岡氏）。

富士通はこれからも、PaaSサービスを進化・発展させ、介護・医療の現場を支え続けていく。



製品の詳細はwebにてご覧ください。 <http://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/paas/fgcpa5/>

### お問い合わせ先

製品・サービスについてのお問い合わせは

**富士通コンタクトライン(総合窓口)**

**0120-933-200** 受付時間 9:00~17:30  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

**富士通株式会社**

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター